

**田川哲史さん**

**電撃移籍！！**

**7.3 歓迎大集会開催！！**



**参加された組合員の皆さん  
大変お疲れ様でした!!**

## メッセージ

田川 哲史 殿

水野 良則

田川さん、J R東海労への加入、誠におめでとうございます。私のこと覚えていますか？

貴方なら覚えてくれていると思っておりますが、私の思い違いただったら申し訳ありません。

以下、私の思い違いかもしれず話を進めていきます。

私が記憶している田川さんは、約15年程前でしょうか、私が旅客指令にいて、京都駅内勤に電話すると、助役ではなく若手が出ていました。その中でも田川さんが出てくれると一番安心したものです。なぜなら、こちらの指示通りに管理者を動かせる人だったからです。私は、田川さんと会わなくとも、電話越しに仕事ができただことは、当時嬉しく思っていました。

初めてお会いしたのは、第二指令所訓練の行きで、明けにも関わらずサービス残業的に現場視察を命令され、京都駅に立ち寄った時だったと記憶しています。

気さくな人柄で対応してくれたのを今でも覚えています。

それから十数年後、私が非現から東2輪に戻ってきて、運転士になった田川さんに出会ったのも覚えています。

「運転士は性に合わない」と言っていたのを覚えています。

今回加入したのは、この田川さんですよね???

写真を見て私は間違いはないと思っておりますが、もし、違うのであれば、速攻言って下さい。違った場合はこれ以下の文を読まないでとお願いしておきます。笑

運転士になって、辛い思いをしていたのは貴方の発言からはなんとなく察していました。きっと、そのような状況でも、相談できる人がいなかったのではないかと推察します。

今回、労働組合を移籍するに当たっては、J R東海の人間として生きていくために、人生を懸けたご決断だったと思います。

しかし、一般企業では労働組合がどうかで、移籍を匂わせると辞めさせようとしていたり、私生活に入り込んだりということはありません。

私たち東海労は、他の一般企業では認められている「労働者として当たり前の権利」をJ R東海ユニオンや、国労や他の皆さんに訴えているだけです。

東海労は怖いだの革マルだのと会社は言いますが、実はこの会社の労働者としての権利を守る活動をしていて、暴力団的組織だとか会社が言っているのは完全にミスリードです。

これから、労働組合を移籍したことによって、ユニオンの連中から「裏切り者」と陰口を叩かれることがあるでしょう。

私も散々ありました。

でも、そういう陰口を叩く彼らが自分の生活を守ってくれるのですか？

答えはおのずとわかりますね。

田川さんも、色々あったことと拝察します。

今度、飲みながら夜通し語りましょう！笑

今日、私は連続休暇中で、本当に残念ながら出席できませんでしたが、この東海労なら「必ず」近いうちに会える席を設定してくれます。

人の繋がりを大切にしてくれる暖かい労働組合です。

どうか、ご安心を。

私は、また貴方に会えるのを今から楽しみにしています。

今後の田川様のご活躍を祈念して

2022年7月3日

水野 良則

(2019年1月東海労加入)

## 「田川哲史さん JR 東海労加入！ 歓迎大集会」アピール

6月28日、JR東海・大阪第二運輸所に勤務する田川さんがJR東海ユニオンと決別し、私たちJR東海労に加入した。JR東海労・大阪運輸所分会では、寄本さん、池田さんに続き3人目の加入である。

田川さんは、「JR東海ユニオンでは組合員を守れない」「JR東海ユニオン一部役員は自分の出世のためにやってるだけ」「私は人間らしく生きていきたい」と、日頃から不満・怒りを持っていた。そして、田川さんは「職場の問題を真正面から捉え、社員の立場に立って取り組んでいるJR東海労は、仲間を大事にし、会社と正々堂々と闘う労働組合だ」と考え、加入を決断した。

私たちはこの間、会社からの攻撃に対し、真正面から反撃の闘いを展開してきた。期末手当満額獲得の闘いや春闘などにおいて、会社はコロナ禍を口実として期末手当の大幅削減、賃上げゼロを強行したが、JR東海労は会社を厳しく追及し闘ってきた。一方、JR東海ユニオンは会社の顔色を伺い、期末手当の低額回答を「評価できる回答」と絶賛し、組合員の不評を買った。

そして何よりも、JR東海労が、54歳原則出向を口実とした、JR東海労への組織破壊攻撃に抗する闘いを職場内外から、そして全地本と連携を強化して、全力で闘い跳ね返してきていることに比し、JR東海ユニオンは、会社がJRCP等への若年出向を強引に行うことに対して、組合員の意向を無視抹殺し積極的に尻押ししているのである。これだけを見ても、組合員の利益を第一に闘うJR東海労と、闘わないJR東海ユニオンの差は歴然としている。

田川さんの加入は、「組合員の利益のために闘うJR東海労」と「会社のために、私利私欲のために蠢くJR東海ユニオン指導部」の違いを、証明したのである。

田川さんの加入を明らかにして以降、心ある多くのユニオン組合員から、数々の賛同と指示するメッセージが多数寄せられている。私たちJR東海労は、田川さんの加入を歓迎すると同時に、その勇気に学び、共に闘っていく。そして、田川さんに続く更なる組織拡大を実現するために、全組合員で奮闘する。

以上、アピールする。

2022年7月3日

田川哲史さん JR 東海労加入！ 歓迎大集会